

第9回クリーンセンター滋賀環境監視委員会会議概要

1. 日時 平成19年 6月 8日(金)14:00~16:30
2. 開催場所 クリーンセンター滋賀 工事現場およびJV現場事務所
3. 出席者 環境監視委員
学識経験者:金谷委員
住民代表:中島茂委員、中島(常)委員、東委員、中邨委員、渡邊委員、中島(仁)委員
事業者:平木委員、岩倉委員
滋賀県:平田委員
甲賀市:稲葉委員、辻委員、松山委員
環境事業公社:清水委員
事務局:財団法人滋賀県環境事業公社

4. 議事概要

1)クリーンセンター滋賀の工事の進捗状況について

【主な質疑】

- ①当該処分場は嫌気性か好気性か？
→準好気性です。
- ②準好気性とは？
→浸出水の配管が空気の通り道にもなりますし、縦向きにも空気が通る管を敷設します。
- ③浸出水の配管の径は？
→主配管が800φ、枝管が150φです。
- ④浸出水貯留部の容量や浸出水処理能力が設計された計算式を(数値で)教えて欲しい。
→次回にデータを用意させていただきます。
- ⑤廃棄物の埋立について、セル方式の位置情報はどのように管理するのか？
→いつ、どこに、何が埋められたかデジタル情報で管理する予定です。
- ⑥災害時等の緊急対応マニュアルは整備するのか？
→工事中は請負人が対応するようにしている。旧処分場では震度5弱で初動体制をとるようにしている。新センターについても各種マニュアルと併せて整備している最中である。
- ⑦漏水検知システムの電極の配置はどのように決まっているのか？
→電極は12mピッチで配置している。漏水検知は4m²の精度である。
- ⑧漏水検知システムについて、敷設後断線した場合のチェックは？
→設置時はきちんと確認しているが、敷設後の断線チェックは何ができるか確認します。
- ⑨排出業者に対して、検査写真等の情報をフィードバックしてはどうか？
→写真の出力は可能なので、排出事業者の要望を聞き検討します。
- ⑩ISO14001は取得するのか？
→ISO14001ではなく、エコアクション21を取得するつもりをしています。



2) 環境影響評価事後調査報告(平成18年分)について

【主な質疑】

① 図4-4-8について、平成19年1月にSt4地点で種類数が減少しているにもかかわらず細胞数が急増しているのはなぜか？種に偏りが生じてきているのか？

→文献等を調べて、縦覧までにははっきりさせたいと思います。

② 旧処分場とクリーンセンター滋賀とは地下水系が違うのか？

→一山違うので異なっているはずです。

③ 地下水監視井戸M2の位置は開業後もそのままなのか？

→現在は、工事の邪魔になるので一時的に移している状態です。工事完了後、再度敷地内に移します。

④ 自然由来か開業後事業によって生じた有害物質なのか把握できるようにしておくこと。

→工事完了後、速やかに然るべき位置に観測井を移設します。

⑤ 平成18年度について、水質に関して住民から何か苦情はあったか？

→前回にも報告させてもらったが、11月の濁水苦情(ヨシ植栽のために調整池の水を掻い出す作業をしていた際、やり方が悪くて濁水が流れた。)以外はありません。

⑥ 埋立初期に遮水シートを傷めないための作業員マニュアル(研修)を作成すること。

→業者の状況を調査し検討します。

⑦ 稼働後の環境監視について、次回までにまとめて欲しい。

また、各種マニュアル(手引き)を開業までに当委員会で議論できるようにして欲しい。

→次回の委員会までに、各種マニュアルのガイドラインを委員に送付し、次回(9月開催予定)の環境監視委員会で議論していただけるようにします。

⑧ 工事用車輛(ミキサー車)の待機車輛が早朝県道で列をつくって停車しており危険である。

また、スピードを出して走っているトラックがある。

→徹底するよう再度注意します。

3) 現地視察

あいにく雨天でしたが、委員の方々には、現地にて工事の進捗状況を確認していただきました。

